

「スッテン・コロリン」

国際ロータリー第2640地区IM7組

ガバナー補佐 萬野 俊史 (忠岡ロータリークラブ)



山が好きです。登山とまではいかないけれど、一人で「中村元の仏教講座」や、「小椋桂」を聞きながら、あれこれ考え歩くのが好きです。

バブルの平成元年、父親が亡くなり、勤めていた監査法人を辞め、会計事務所を独立開業した時、ちょうど忠岡ロータリークラブの設立があり、ある人の奨めで入会。創立総会の当日が親父の葬式の日で欠席。なにか因縁めいたものを感じながら17年間続けてきた。今まで、会長、幹事は経験したものの、これとってロータリーでなにをしたかという誇れるものがない。

今回なりゆきで、ガバナー補佐を引受けて、改めてロータリーのことを考えました。

職業奉仕。昨今、カネボウ、ライブドア問題で公認会計士のプロとしての職業専門家のモラルが問われ、会計士協会の研修会でもやたらと「職業倫理」の講習が多い。ロータリーの綱領でもロータリアンが各自の業務を通じて社会に奉仕するため、専門職務の道徳的水準を高めること、とあり、会議でもくどいほど繰り返言われている。経済優先の社会の中で、何かこういう「倫理的・道徳的」なことを心の底で軽視してきたのではないだろうか。私自身も「赤心」に帰り反省が必要なんだなあ。

スッテン・コロリン。雪道で転んで右手手首を捻挫。確定申告の繁忙期を控え仕事にならない。まだまだ、自覚が足りないのだろう。

補佐になって、担当クラブを回って勉強させて頂いたり、いろんな委員会に出席でき、まだまだロータリーを続けて勉強しろということか。

(RI第2640地区マンスリーレター・2006年5月号より)